



毒のある生きもの 最強バトル 図鑑

柴田佳秀 監修

さがわゆめこ 画

グラフィオ 編



1 オオスズメバチ

データ
 スズメバチ科
 体長：2.7~4.5cm
 分布：アジア〜北米（日本は全域）

毒の部位：腹部の先の毒針
毒の成分：神経毒
毒の効果：痛み、筋肉の萎縮、心臓や呼吸のマヒ



にほん さいきょう
 日本で最強の
 毒生物かも!?

毒針
 針の長さは4~7mm。
 刺しても針は抜けず、何
 度でも刺すことができる。

I オオスズメバチ

日本にいる恐怖の昆虫!

特徴 大きな巣をつくり集団で生活する。社会性をもつハチでは世界最大級で、女王バチの体長は約4.5cm。攻撃性が非常に強く、大型で毒の量も多いため、世界最強のハチともいわれる。飛行速度は時速約40kmにもおよぶ。

凶暴性 巣を中心としたエサ場のなわばり意識が強い。侵入する外敵には、

世界最強の凶悪バチ!!

集団でおそいかかる。すばやくうごくものや、黄色や黒色のものに対して集中攻撃する。攻撃時は、大あごをならして威嚇。相手にかみつき体を密着させ、毒針をうつ。

毒攻撃 針を刺して毒を注入されると、すぐに激痛がおこる。複数回刺されるとアナフィラキシーショック(29ページ)で、死にいたることもある。

2 カリフォルニアイモリ

データ
 イモリ科
 体長：13~20cm
 分布：アメリカ・カリフォルニア州（固有亜種）

毒の部位：ひふ、筋肉、内臓など体全体
毒の成分：神経毒
毒の効果：マヒ、血圧低下、呼吸停止



ぼうぎょ
 防御のための
 毒をもつ!

体全体
 ひふや筋肉や内臓など、
 体のあらゆる部位に毒を
 たためこんでいる。

I カリフォルニアイモリ

フグがもつ猛毒を体全体に蓄積している毒イモリ!!

特徴 フグ毒とおなじ神経毒「テトロドトキシン」を体内にもち、ひふから分泌する。池や沼の周辺をこのむが、森林などにも生息する。

凶暴性 おとなしい。天敵はヘビ。敵が近づくと、ひっくりかえってオレンジ色の腹を見せつけ、自分に毒があることをアピールして威嚇する。

毒攻撃 ひふ、筋肉、血液、内臓など、全身に強毒のテトロドトキシンをもつ。外敵がカリフォルニアイモリをなめたり、食べたりすると、強毒が体内にまわって全身がマヒし、場合によっては死亡する。人間も、素手でふれるとひふ炎をおこす。フグの毒とおなじものなので解毒薬はなく、治療がむずかしい。

3 ニホンマムシ

データ
 クサリヘビ科
 体長：45～65cm
 分布：日本（北海道～九州）のみに生息

毒の部位：毒腺（目の後方）、毒牙（上あごの牙）
毒の成分：出血毒（通称「マムシ毒」）
毒の効果：出血、激痛、腫れ、腎不全



毒腺
 目のうしろにある、毒をためる器官。

毒牙
 上あごに2本ある、長さ4mmほどの牙。

日本の毒ヘビの代表格よ！

I ニホンマムシ

日本全国に出没！「マムシ毒」に警戒せよ！！

特徴 日本にのみ生息し、各地でよく出没する毒ヘビ。ハブよりも強い毒をもつが、たくわえる毒の量はハブよりも少ない。春と秋は昼間、夏は夜も活動する。木やかべなどをのぼることができ、ネズミやスズメ、カエル、ムカデなどを食べる。

凶暴性 とても攻撃的で、捕食時や防御時などで積極的にたたかう。威嚇す

るときは尾をもちあげてカラカラと音をならす。体をバネのようにちぢませ、急激にのばしてとびかかる。

毒攻撃 相手にかみつき、牙から毒をながしこむ。かまれてもチクツとした痛みしかないので、手当がおくれることもある。時間とともに出血や激痛、腫れがでて、悪化すると死にいたる。

4 モウドクフキヤガエル

データ
 ヤドクガエル科
 体長：4.5～4.7cm
 分布：コロンビア（固有種）

毒の部位：ひふ
毒の成分：神経毒、心臓毒
毒の効果：心臓発作、筋肉収縮



ひふ
 強毒のバトラコトキシンを、ひふから分泌しつけている。

とんでもなく強烈な毒よ！

I モウドクフキヤガエル

自然界ナンバーワンの猛毒をもつ超危険なカエル！！

特徴 自然界における強い毒素のひとつであるバトラコトキシン（人間の致死量は0.1～0.3mg）を、つねにひふから分泌している。コロンビアの原住民は、この毒を吹き矢にぬりつけて狩りをしていた。湿性林に生息し、昆虫や節足動物を食べる。

凶暴性 外敵に自分からおそいかかることはない。毒は防御のために分泌さ

れていて、昆虫などを捕食する際に毒をつかうことはないとかんがえられている。

毒攻撃 外敵に食べられたとき、すぐに毒が相手の体内にまわり、死にいたらしめる。バトラコトキシンは少量でも強い効果を発揮するため、もしも外敵に丸のみされても、毒が瞬時に相手を殺し、その口内からの脱出も可能かもしれない。

カテゴリー
I

バトルフィールドアンド

レギュレーション解説かいせつ

フィールド「川と湿地がある山林」

温暖湿潤な気候で、多種多様な生物が生息する。山のすそ野にあたるこの場所には小川がながれており、その周辺には湿地帯と草原がひろがる。山へとむかう傾斜には林があり、その奥はうっそうとした森になる。

レギュレーション

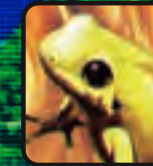
- エントリーした毒生物はフィールド内にランダムに配置される。
- 毒の効果は、人間がこうむる毒性と類似させる。
特殊な例（好んで捕食するなど）をのぞき、毒への耐性をもたないものとする。
- 公平なバトルにするため、生物の頭数を調整。
→ ヒアリは100匹、オオスズメバチは10匹、モウドクフキヤガエルは2匹での参加をみとめる。



オオスズメバチ(10匹)
林の木に巣をもつ状態で配置



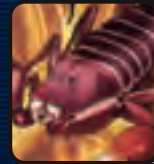
ヒアリ (100匹)
小川の
上流付近に配置



モウドクフキヤガエル (2匹)
湿地帯に配置



カリフォルニアイモリ
小川付近の
草原に配置



ジャイアントデススター
林の木々の
根本付近に配置



ニホンマムシ
草原の草深い
場所に配置



このマップと配置、
どうみえますか？



ランダム配置とのことですが、それぞれ、自分に適した地形や場所にドロップされたようですね。ただ、ヒアリは、小川の真上にドロップしたようにみえるので気がかりです。ニホンマムシが優勢になりそうですが、バトル本番に注目しましょう。

さあ！
いよいよ開幕戦！！
バトルスタート！！！！

さあ、バトルがはじまりました！
さっそくフィールドを見てみましょう……

おおっと、
なんだ、これは？

いびか

なんと、ヒアリだ！
集団でいかだをつかって、
川にながされている！

ああ！！

不運！ モウドクフキヤガエル到来！
ヒアリをつぎつぎと食べはじめた～！

オオオ

えい 47
47
わ

かんばれー

生き残ったヒアリ、
なんとか岸にたどりついた
……が！

ああ～っ！ またしても悲運！
カリフォルニアイモリが乱入！
ヒアリ、あえなく全滅してしまった～！

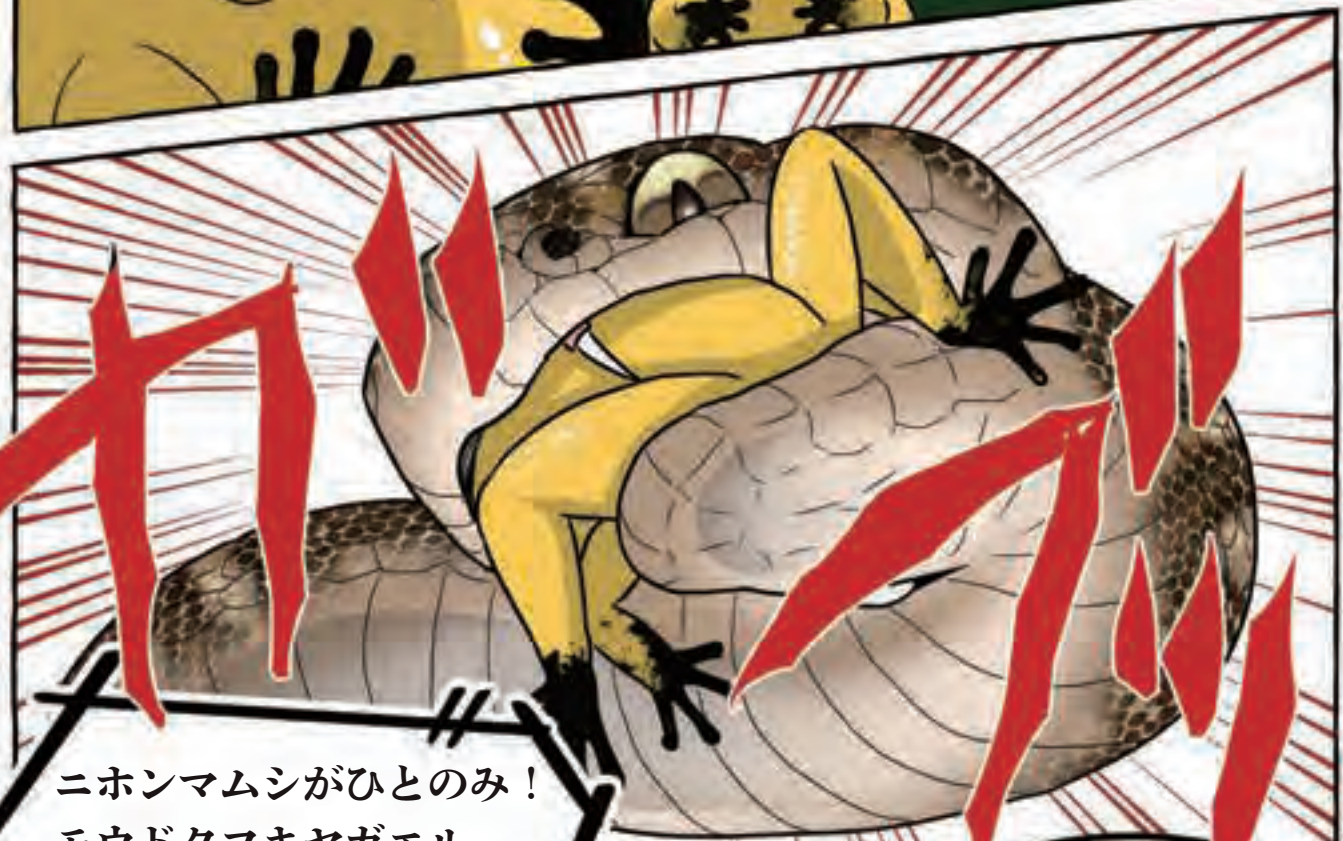
むしゃ

むしゃ

バクッ



モウドクフキヤガエル、
まんぷく^{まんぷく}で油断^{ゆたん}していたか？
まじょう^{まじょう}頭上からニホンマムシににらまれて
まったくうごけない！



ニホンマムシがひとのみ！
モウドクフキヤガエル、
ここで敗退^{はいたい}！

おや、ニホンマムシの
ようすがおかしいぞ？
モウドクフキヤガエルの
毒^{どく}がきいたのか！？



ヨロ...
ヨロ...



カメラがきりかわって、こちらは
カリフォルニアイモリ！
オオスズメバチのテリトリーに
はい^{はい}ってしまったもようです！

強い！ 圧倒的^{あつとうてき}！
オオスズメバチの
集団攻撃^{しゅうだんこうげき}！

カリフォルニアイモリ、
あっという間に
ノックアウトだ！